



平成 24 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 協同飼料株式会社
代表者名 代表取締役社長 林 泰 正
(コード番号 2052 東証第一部)
問合せ先 執行役員経理部長 大 友 彰
(TEL. 045-461-5711)

(訂正) 「平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績概況」
の一部訂正について

当社は、本日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 20 年 1 月 30 日に発表いたしました「平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績概況」の記載内容を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

訂正箇所が多数であるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線____を付して表示しております。

[訂正前]



平成20年3月期 第3四半期財務・業績概況

平成20年1月30日

上場会社名 協同飼料株式会社

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

コード番号 2052

URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 弘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大友 彰 TEL (045) 461-5711

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	99,157	20.8	1,323	△16.8	1,557	△1.5	987	95.8
19年3月期第3四半期	82,057	△0.7	1,592	△26.4	1,580	△23.5	504	△14.6
19年3月期	111,058		2,484		2,432		816	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	9 90	—
19年3月期第3四半期	5 06	—
19年3月期	8 18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	54,257	13,812	25.4	138 34
19年3月期第3四半期	50,308	13,472	26.8	134 94
19年3月期	48,942	13,620	27.8	136 43

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	1,562	240	△1,004	1,464
19年3月期第3四半期	1,911	44	△1,845	740
19年3月期	2,548	△177	△2,336	665

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	129,500	16.6	1,300	△47.7	1,600	△34.2	900	10.3	9 02	

平成19年11月12日の中間決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の通期業績予想を修正いたします。

修正に関する事項につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. その他

- | | |
|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | 有 |

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期（平成 19 年 4 月～12 月）におけるわが国経済は、輸出、生産、設備投資がいずれも増加基調で、緩やかながらも息の長い景気回復を続けておりますものの、原油価格や原料価格の上昇、サブプライム問題などを背景に、景気の先行きへの警戒感を強めてきています。

飼料畜産業界におきましては、配合飼料の主要原料であるとうもろこしが、エタノール需要の急増などから年初より高騰し、一時は落ち着きをみせたものの、後半も上昇傾向で推移いたしました。また、海上運賃も船舶需要の増加から史上最高値を更新するなど価格上昇に歯止めがかからない状況で推移しました。

畜産物につきましては、豚肉及び鶏肉の相場は堅調に推移いたしましたものの、鶏卵は国内生産量の増加から相場は軟調に推移しました。

こうした環境にあつて当社グループは、畜産生産者の生産性に貢献する価値ある製品の開発に注力し、肉牛用飼料を中心に販売数量の拡大を図りました。

その結果、売上高は 991 億 5 千 7 百万円（前年同期比 20.8%増）となったものの、営業利益は 13 億 2 千 3 百万円（前年同期比 16.8%減）、経常利益は 15 億 5 千 7 百万円（前年同期比 1.5%減）となりました。また、特別損益として固定資産の売却益 4 億 7 千 4 百万円を計上した結果、当四半期純利益は 9 億 8 千 7 百万円と、前年同期比 4 億 8 千 3 百万円の増益となりました。

事業別の状況は、以下の通りです。

飼料事業

飼料事業では、販売数量は肉牛用・水産用等を中心に増加し、また本年 4 月に続いて 7 月も配合飼料製品価格の値上げを行ったことから、売上高は増加いたしました。しかしながら、原料価格の大幅な高騰及び配合飼料価格安定基金負担金の増加から、営業利益は 18 億 4 千 1 百万円（前年同期比 12.8%減）と減益となりました。

畜産物事業

畜産物事業では、売上高は鶏卵を中心に畜産物相場が軟調に推移したことから前年同期並みの数字にとどまりましたが、営業利益は 2 億 8 千 8 百万円（前年同期比 30.8%増）と増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期の財政状況を前期末と比べますと、配合飼料製品価格の値上げにより売上債権が 43 億 4 千万円増加したこと等により、総資産は 53 億 1 千 5 百万円増加して 542 億 5 千 7 百万円となり、純資産は 1 億 9 千 1 百万円増加して 138 億 1 千 2 百万円となりました。

(連結キャッシュ・フロー)

当第 3 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益 16 億 8 千 2 百万円、仕入債務の増加 47 億 6 百万円等により、売上債権の増加等があったものの、15 億 6 千 2 百万円の収入となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、固定資産の売却収入 7 億 8 百万円等により、2 億 4 千万円の収入となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、長短借入金の純返済 7 億 5 百万円、配当金の支払い 2 億 9 千 9 百万円等により、10 億 4 百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物期末残高は、14 億 6 千 4 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、本日付（平成 20 年 1 月 30 日）で開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・法人税等の計算基準…簡便法により計算しております。
- ・引当金の計上基準等に、一部簡便な方法を採用しております。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

・役員退職慰労引当金

役員退職慰労金は、従来、支出時の費用として処理していましたが、当連結会計期間から内規に基づく四半期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更しました。

この変更により、当四半期連結会計期間発生額 28 百万円は販売費及び一般管理費に、過年度相当額 248 百万円については特別損失に計上しております。

この結果、従来の方法に比べ、営業利益及び経常利益は 28 百万円、税金等調整前四半期純利益は 277 百万円減少しております。

・有形固定資産の減価償却の方法

法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

・追加情報

法人税法の改正に伴い、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により、取得価額の 5% に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より取得価額の 5% 相当額と備忘価額との差額を 5 年にわたり均等償却し、減価償却に含めて計上しております。これにより、従来の方法に比べ営業利益が 63 百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が 86 百万円それぞれ減少しています。

要約四半期連結貸借対照表

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前連結 会計年度末 (19.3.31)	当第3四半期 連結会計期間末 (19.12.31)	増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (18.12.31)
(資産の部)				
I 流動資産	25,158	32,180	7,022	25,470
現金及び預金	668	1,477	809	743
受取手形及び売掛金	19,262	23,602	4,340	19,477
たな卸資産	3,764	4,978	1,214	3,706
繰延税金資産	125	70	△ 54	85
短期貸付金	389	329	△ 59	319
その他	1,067	1,896	829	1,217
貸倒引当金	△ 117	△ 176	△ 58	△ 79
II 固定資産	<u>23,783</u>	<u>22,077</u>	△1,706	<u>24,838</u>
有形固定資産	8,441	8,237	△ 203	8,511
建物及び構築物	2,354	2,186	△ 167	2,388
機械装置及び運搬具	2,970	2,721	△ 249	3,007
土地	2,958	2,896	△ 62	2,958
建設仮勘定	1	276	274	1
その他	156	157	0	154
無形固定資産	381	335	△ 45	386
投資その他の資産	<u>14,960</u>	<u>13,503</u>	△1,457	<u>15,940</u>
投資有価証券	6,079	5,358	△ 720	6,258
長期貸付金	5,066	4,939	△ 126	5,119
長期未収入金	6,674	6,336	△ 338	6,716
破産債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	721	632	△ 89	1,546
繰延税金資産	<u>2,012</u>	<u>2,434</u>	422	<u>2,192</u>
その他	719	560	△ 159	761
貸倒引当金	<u>△6,313</u>	<u>△6,758</u>	△ 444	<u>△6,655</u>
資産合計	<u>48,942</u>	<u>54,257</u>	5,315	<u>50,308</u>

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前連結 会計年度末 (19.3.31)	当第3四半期 連結会計期間末 (19.12.31)	増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (18.12.31)
(負債の部)				
I 流動負債	25,708	30,589	4,880	28,626
支払手形及び買掛金	12,886	17,592	4,706	13,894
短期借入金	8,900	8,253	△ 647	10,831
未払法人税等	314	557	242	323
賞与引当金	368	173	△ 194	186
未払費用	1,362	1,655	292	1,483
その他	1,876	2,357	480	1,907
II 固定負債	9,612	9,856	243	8,209
長期借入金	8,267	8,209	△ 58	6,827
退職給付引当金	1,304	1,336	32	1,341
その他	41	309	268	41
負債合計	35,321	40,445	5,123	36,836
(純資産の部)				
I 株主資本	12,292	12,921	629	11,980
資本金	5,199	5,199	—	5,199
資本剰余金	4,947	4,947	0	4,947
利益剰余金	2,564	3,194	630	2,252
自己株式	△ 419	△ 419	△ 0	△ 419
II 評価・換算差額等	1,321	881	△ 440	1,484
その他有価証券評価差額金	1,298	777	△ 520	1,430
繰延ヘッジ損益	23	103	80	53
III 少数株主持分	6	8	2	8
純資産合計	13,620	13,812	191	13,472
負債及び純資産合計	48,942	54,257	5,315	50,308

(金額単位：百万円未満切捨)

	前連結会計年度末	当第3四半期	前第3四半期
(注) 1. 受取手形割引高	1,510	1,845	1,363
2. 有形固定資産減価償却累計額	21,394	21,244	21,382
3. 保証債務	2,409	2,149	2,500
4. 債務保証予約	259	234	268
5. 経営指導念書	179	152	190
6. 自己株式数	4,212,546株	4,216,973株	4,212,471株

要約四半期連結損益計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前第 3 四半期 連結会計期間 (18.4~18.12)	当第 3 四半期 連結会計期間 (19.4~19.12)	増 減	前連結会計年度 (18.4~19.3)
I 売 上 高	82,057	99,157	17,099	111,058
II 売 上 原 価	73,464	89,876	16,412	99,176
売 上 総 利 益	8,593	9,281	687	11,881
III 販売費及び一般管理費	7,001	7,957	955	9,397
営 業 利 益	1,592	1,323	△ 268	2,484
IV 営 業 外 収 益	427	783	355	576
受取利息及び配当金	110	103	△ 7	124
持分法による投資利益	—	89	89	—
そ の 他	316	590	273	452
V 営 業 外 費 用	438	549	110	628
支 払 利 息	245	276	30	331
持分法による投資損失	17	—	△ 17	15
そ の 他	175	273	97	281
経 常 利 益	1,580	1,557	△ 23	2,432
VI 特 別 利 益	50	474	423	52
固定資産処分益	50	474	423	52
VII 特 別 損 失	680	349	△ 331	993
固定資産処分損	14	42	27	33
役員退職慰労引当金繰入額	—	248	248	—
関係会社整理損	—	42	42	—
投資有価証券等評価損	—	16	16	—
貸倒引当金繰入額	531	—	△ 531	800
役員退職慰労金	135	—	△ 135	159
税金等調整前四半期(当期)純利益	950	1,682	731	1,491
税 金 費 用	443	692	248	674
少 数 株 主 利 益	2	2	△ 0	1
四半期(当期)純利益	504	987	483	816

(注) 第 3 四半期における税金費用については簡便法により計算しているため、「法人税等調整額」は、「税金費用」に含めて表示しております。

要約四半期連結株主資本等変動計算書

前第 3 四半期連結会計期間 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日) (金額単位: 百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	1,947	△ 418	11,676	2,140	—	2,140	5	13,823
四半期連結期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
四半期純利益			504		504					504
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の四半期 連結期間中の変動額(純額)						△ 710	53	△ 656	2	△ 654
四半期連結期間中の変動額合計	—	0	304	△ 0	303	△ 710	53	△ 656	2	△ 350
平成 18 年 12 月 31 日残高	5,199	4,947	2,252	△ 419	11,980	1,430	53	1,484	8	13,472

当第 3 四半期連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日) (金額単位: 百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
平成 19 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	2,564	△ 419	12,292	1,298	23	1,321	6	13,620
四半期連結期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 299		△ 299					△ 299
四半期純利益			987		987					987
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
持分法適用会社増加に よる連結剰余金減少高			△ 57		△ 57					△ 57
株主資本以外の項目の四半期 連結期間中の変動額(純額)						△ 520	80	△ 440	2	△ 437
四半期連結期間中の変動額合計	—	0	630	△ 0	629	△ 520	80	△ 440	2	191
平成 19 年 12 月 31 日残高	5,199	4,947	3,194	△ 419	12,921	777	103	881	8	13,812

前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

(金額単位：百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数 株主 持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	1,947	△ 418	11,676	2,140	—	2,140	5	13,823
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
当期純利益			816		816					816
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 842	23	△ 819	1	△ 818
連結会計年度中の変動額合計	—	0	616	△ 0	615	△ 842	23	△ 819	1	△ 202
平成 19 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	2,564	△ 419	12,292	1,298	23	1,321	6	13,620

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

区 分	前第 3 四半期 連結会計期間 (18. 4~18. 12)	当第 3 四半期 連結会計期間 (19. 4~19. 12)	前連結会計年度 (18. 4~19. 3)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	950	1,682	1,491
減価償却費	629	675	851
引当金の増加額(△は減少額)	583	812	169
売上債権の減少額(△は増加額)	△ 4,560	△ 4,140	△ 3,774
たな卸資産の減少額(△は増加額)	△ 713	△ 1,214	△ 770
仕入債務の増加額(△は減少額)	5,106	4,706	3,930
法人税等の支払額	△ 2	△ 461	△ 30
その他	△ 81	△ 497	682
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,911	1,562	2,548
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
貸付金の純減少額(△は純増加額)	188	186	171
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 357	△ 569	△ 566
有形・無形固定資産の売却による収入	176	708	171
投資有価証券の取得による支出	△ 4	△ 109	△ 4
投資有価証券の売却による収入	41	35	29
その他	△ 0	△ 10	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	44	240	△ 177
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(△は純減少額)	△ 94	934	△ 700
長期借入金の借入による収入	2,200	1,200	4,500
長期借入金の返済による支出	△ 3,627	△ 2,840	△ 5,812
預り担保金返済による支出	△ 122	1	△ 122
自己株式の売却による収入	0	0	0
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	△ 0
配当金の支払額	△ 200	△ 299	△ 200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,845	△ 1,004	△ 2,336
IV. 現金及び現金同等物の増加額	110	799	35
V. 現金及び現金同等物期首残高	629	665	629
VI. 現金及び現金同等物期末残高	740	1,464	665

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	49,523	32,534	82,057	—	82,057
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	73	—	73	(73)	—
計	49,597	32,534	82,131	(73)	82,057
営業費用	47,484	32,314	79,799	666	80,465
営業利益	2,112	220	2,332	(740)	1,592

当第3四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	65,429	33,728	99,157	—	99,157
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	66	—	66	(66)	—
計	65,496	33,728	99,224	(66)	99,157
営業費用	63,654	33,439	97,094	739	97,833
営業利益	1,841	288	2,130	(806)	1,323

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	68,202	42,856	111,058	—	111,058
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	101	—	101	(101)	—
計	68,303	42,856	111,160	(101)	111,058
営業費用	65,175	42,490	107,666	907	108,574
営業利益	3,127	366	3,493	(1,009)	2,484

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

2. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

[訂正後]



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績概況

平成 20 年 1 月 30 日

上場会社名 協同飼料株式会社

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

コード番号 2052

URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 弘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大友 彰 TEL (045) 461-5711

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 3 四半期	99,157	20.8	1,323	△16.8	1,557	△ 1.5	987	95.8
19 年 3 月期第 3 四半期	82,057	△ 0.7	1,592	△26.4	1,580	△23.5	504	△14.6
19 年 3 月期	111,058		2,484		2,432		816	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	9 90	—
19 年 3 月期第 3 四半期	5 06	—
19 年 3 月期	8 18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	53,665	13,219	24.6	132 40
19 年 3 月期第 3 四半期	49,716	12,880	25.9	129 00
19 年 3 月期	48,349	13,028	26.9	130 50

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 3 四半期	1,562	240	△ 1,004	1,464
19 年 3 月期第 3 四半期	1,911	44	△ 1,845	740
19 年 3 月期	2,548	△ 177	△ 2,336	665

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	129,500	16.6	1,300	△47.7	1,600	△34.2	900	10.3	9 02	

平成 19 年 11 月 12 日の中間決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) の通期業績予想を修正いたします。

修正に関する事項につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. その他

- | | |
|--|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | 有 |

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年4月～12月）におけるわが国経済は、輸出、生産、設備投資がいずれも増加基調で、緩やかながらも息の長い景気回復を続けておりますものの、原油価格や原料価格の上昇、サブプライム問題などを背景に、景気の先行きへの警戒感を強めてきています。

飼料畜産業界におきましては、配合飼料の主要原料であるとうもろこしが、エタノール需要の急増などから年初より高騰し、一時は落ち着きをみせたものの、後半も上昇傾向で推移いたしました。また、海上運賃も船舶需要の増加から史上最高値を更新するなど価格上昇に歯止めがかからない状況で推移しました。

畜産物につきましては、豚肉及び鶏肉の相場は堅調に推移いたしましたものの、鶏卵は国内生産量の増加から相場は軟調に推移しました。

こうした環境にあつて当社グループは、畜産生産者の生産性に貢献する価値ある製品の開発に注力し、肉牛用飼料を中心に販売数量の拡大を図りました。

その結果、売上高は991億5千7百万円（前年同期比20.8%増）となったものの、営業利益は13億2千3百万円（前年同期比16.8%減）、経常利益は15億5千7百万円（前年同期比1.5%減）となりました。また、特別損益として固定資産の売却益4億7千4百万円を計上した結果、当四半期純利益は9億8千7百万円と、前年同期比4億8千3百万円の増益となりました。

事業別の状況は、以下の通りです。

飼料事業

飼料事業では、販売数量は肉牛用・水産用等を中心に増加し、また本年4月に続いて7月も配合飼料製品価格の値上げを行ったことから、売上高は増加いたしました。しかしながら、原料価格の大幅な高騰及び配合飼料価格安定基金負担金の増加から、営業利益は18億4千1百万円（前年同期比12.8%減）と減益となりました。

畜産物事業

畜産物事業では、売上高は鶏卵を中心に畜産物相場が軟調に推移したことから前年同期並みの数字にとどまりましたが、営業利益は2億8千8百万円（前年同期比30.8%増）と増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状況を前期末と比べますと、配合飼料製品価格の値上げにより売上債権が43億4千万円増加したこと等により、総資産は53億1千5百万円増加して536億6千5百万円となり、純資産は1億9千1百万円増加して132億1千9百万円となりました。

(連結キャッシュ・フロー)

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益16億8千2百万円、仕入債務の増加47億6百万円等により、売上債権の増加等があったものの、15億6千2百万円の収入となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、固定資産の売却収入7億8百万円等により、2億4千万円の収入となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、長短借入金の純返済7億5百万円、配当金の支払い2億9千9百万円等により、10億4百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物期末残高は、14億6千4百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、本日付（平成20年1月30日）で開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・法人税等の計算基準…簡便法により計算しております。
- ・引当金の計上基準等に、一部簡便な方法を採用しております。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

・役員退職慰労引当金

役員退職慰労金は、従来、支出時の費用として処理していましたが、当連結会計期間から内規に基づく四半期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更しました。

この変更により、当四半期連結会計期間発生額 28 百万円は販売費及び一般管理費に、過年度相当額 248 百万円については特別損失に計上しております。

この結果、従来の方法に比べ、営業利益及び経常利益は 28 百万円、税金等調整前四半期純利益は 277 百万円減少しております。

・有形固定資産の減価償却の方法

法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

・追加情報

法人税法の改正に伴い、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により、取得価額の 5% に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より取得価額の 5% 相当額と備忘価額との差額を 5 年にわたり均等償却し、減価償却に含めて計上しております。これにより、従来の方法に比べ営業利益が 63 百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が 86 百万円それぞれ減少しています。

要約四半期連結貸借対照表

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前連結 会計年度末 (19.3.31)	当第3四半期 連結会計期間末 (19.12.31)	増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (18.12.31)
(資産の部)				
I 流動資産	25,158	32,180	7,022	25,470
現金及び預金	668	1,477	809	743
受取手形及び売掛金	19,262	23,602	4,340	19,477
たな卸資産	3,764	4,978	1,214	3,706
繰延税金資産	125	70	△ 54	85
短期貸付金	389	329	△ 59	319
その他	1,067	1,896	829	1,217
貸倒引当金	△ 117	△ 176	△ 58	△ 79
II 固定資産	<u>23,191</u>	<u>21,484</u>	△ 1,706	<u>24,245</u>
有形固定資産	8,441	8,237	△ 203	8,511
建物及び構築物	2,354	2,186	△ 167	2,388
機械装置及び運搬具	2,970	2,721	△ 249	3,007
土地	2,958	2,896	△ 62	2,958
建設仮勘定	1	276	274	1
その他	156	157	0	154
無形固定資産	381	335	△ 45	386
投資その他の資産	<u>14,368</u>	<u>12,911</u>	△ 1,457	<u>15,348</u>
投資有価証券	6,079	5,358	△ 720	6,258
長期貸付金	5,066	4,939	△ 126	5,119
長期未収入金	6,674	6,336	△ 338	6,716
破産債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	721	632	△ 89	1,546
繰延税金資産	<u>2,424</u>	<u>2,846</u>	422	<u>2,604</u>
その他	719	560	△ 159	761
貸倒引当金	<u>△ 7,317</u>	<u>△ 7,762</u>	△ 444	<u>△ 7,659</u>
資産合計	<u>48,349</u>	<u>53,665</u>	5,315	<u>49,716</u>

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前連結 会計年度末 (19.3.31)	当第3四半期 連結会計期間末 (19.12.31)	増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (18.12.31)
(負債の部)				
I 流動負債	25,708	30,589	4,880	28,626
支払手形及び買掛金	12,886	17,592	4,706	13,894
短期借入金	8,900	8,253	△ 647	10,831
未払法人税等	314	557	242	323
賞与引当金	368	173	△ 194	186
未払費用	1,362	1,655	292	1,483
その他	1,876	2,357	480	1,907
II 固定負債	9,612	9,856	243	8,209
長期借入金	8,267	8,209	△ 58	6,827
退職給付引当金	1,304	1,336	32	1,341
その他	41	309	268	41
負債合計	35,321	40,445	5,123	36,836
(純資産の部)				
I 株主資本	11,699	12,329	629	11,388
資本金	5,199	5,199	—	5,199
資本剰余金	4,947	4,947	0	4,947
利益剰余金	1,971	2,602	630	1,660
自己株式	△ 419	△ 419	△ 0	△ 419
II 評価・換算差額等	1,321	881	△ 440	1,484
その他有価証券評価差額金	1,298	777	△ 520	1,430
繰延ヘッジ損益	23	103	80	53
III 少数株主持分	6	8	2	8
純資産合計	13,028	13,219	191	12,880
負債及び純資産合計	48,349	53,665	5,315	49,716

(金額単位：百万円未満切捨)

	前連結会計年度末	当第3四半期	前第3四半期
(注) 1. 受取手形割引高	1,510	1,845	1,363
2. 有形固定資産減価償却累計額	21,394	21,244	21,382
3. 保証債務	2,409	2,149	2,500
4. 債務保証予約	259	234	268
5. 経営指導念書	179	152	190
6. 自己株式数	4,212,546株	4,216,973株	4,212,471株

要約四半期連結損益計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (18.4~18.12)	当第3四半期 連結会計期間 (19.4~19.12)	増 減	前連結会計年度 (18.4~19.3)
I 売上高	82,057	99,157	17,099	111,058
II 売上原価	73,464	89,876	16,412	99,176
売上総利益	8,593	9,281	687	11,881
III 販売費及び一般管理費	7,001	7,957	955	9,397
営業利益	1,592	1,323	△ 268	2,484
IV 営業外収益	427	783	355	576
受取利息及び配当金	110	103	△ 7	124
持分法による投資利益	—	89	89	—
その他	316	590	273	452
V 営業外費用	438	549	110	628
支払利息	245	276	30	331
持分法による投資損失	17	—	△ 17	15
その他	175	273	97	281
経常利益	1,580	1,557	△ 23	2,432
VI 特別利益	50	474	423	52
固定資産処分益	50	474	423	52
VII 特別損失	680	349	△ 331	993
固定資産処分損	14	42	27	33
役員退職慰労引当金繰入額	—	248	248	—
関係会社整理損	—	42	42	—
投資有価証券等評価損	—	16	16	—
貸倒引当金繰入額	531	—	△ 531	800
役員退職慰労金	135	—	△ 135	159
税金等調整前四半期(当期)純利益	950	1,682	731	1,491
税金費用	443	692	248	674
少数株主利益	2	2	△ 0	1
四半期(当期)純利益	504	987	483	816

(注) 第3四半期における税金費用については簡便法により計算しているため、「法人税等調整額」は、「税金費用」に含めて表示しております。

要約四半期連結株主資本等変動計算書

前第 3 四半期連結会計期間 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日) (金額単位: 百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	1,355	△ 418	11,084	2,140	—	2,140	5	13,230
四半期連結期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
四半期純利益			504		504					504
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の四半期連結期間中の変動額(純額)						△ 710	53	△ 656	2	△ 654
四半期連結期間中の変動額合計	—	0	304	△ 0	303	△ 710	53	△ 656	2	△ 350
平成 18 年 12 月 31 日残高	5,199	4,947	1,660	△ 419	11,388	1,430	53	1,484	8	12,880

当第 3 四半期連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日) (金額単位: 百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成 19 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	1,971	△ 419	11,699	1,298	23	1,321	6	13,028
四半期連結期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 299		△ 299					△ 299
四半期純利益			987		987					987
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
持分法適用会社増加による連結剰余金減少高			△ 57		△ 57					△ 57
株主資本以外の項目の四半期連結期間中の変動額(純額)						△ 520	80	△ 440	2	△ 437
四半期連結期間中の変動額合計	—	0	630	△ 0	629	△ 520	80	△ 440	2	191
平成 19 年 12 月 31 日残高	5,199	4,947	2,602	△ 419	12,329	777	103	881	8	13,219

前連結会計年度(自平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

(金額単位:百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	1,355	△ 418	11,084	2,140	—	2,140	5	13,230
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
当期純利益			816		816					816
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 842	23	△ 819	1	△ 818
連結会計年度中の変動額合計	—	0	616	△ 0	615	△ 842	23	△ 819	1	△ 202
平成 19 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	1,971	△ 419	11,699	1,298	23	1,321	6	13,028

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

区 分	前第 3 四半期 連結会計期間 (18. 4~18. 12)	当第 3 四半期 連結会計期間 (19. 4~19. 12)	前連結会計年度 (18. 4~19. 3)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	950	1,682	1,491
減価償却費	629	675	851
引当金の増加額(△は減少額)	583	812	169
売上債権の減少額(△は増加額)	△ 4,560	△ 4,140	△ 3,774
たな卸資産の減少額(△は増加額)	△ 713	△ 1,214	△ 770
仕入債務の増加額(△は減少額)	5,106	4,706	3,930
法人税等の支払額	△ 2	△ 461	△ 30
その他	△ 81	△ 497	682
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,911	1,562	2,548
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
貸付金の純減少額(△は純増加額)	188	186	171
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 357	△ 569	△ 566
有形・無形固定資産の売却による収入	176	708	171
投資有価証券の取得による支出	△ 4	△ 109	△ 4
投資有価証券の売却による収入	41	35	29
その他	△ 0	△ 10	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	44	240	△ 177
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(△は純減少額)	△ 94	934	△ 700
長期借入金の借入による収入	2,200	1,200	4,500
長期借入金の返済による支出	△ 3,627	△ 2,840	△ 5,812
預り担保金返済による支出	△ 122	1	△ 122
自己株式の売却による収入	0	0	0
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	△ 0
配当金の支払額	△ 200	△ 299	△ 200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,845	△ 1,004	△ 2,336
IV. 現金及び現金同等物の増加額	110	799	35
V. 現金及び現金同等物期首残高	629	665	629
VI. 現金及び現金同等物期末残高	740	1,464	665

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	49,523	32,534	82,057	—	82,057
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	73	—	73	(73)	—
計	49,597	32,534	82,131	(73)	82,057
営業費用	47,484	32,314	79,799	666	80,465
営業利益	2,112	220	2,332	(740)	1,592

当第3四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	65,429	33,728	99,157	—	99,157
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	66	—	66	(66)	—
計	65,496	33,728	99,224	(66)	99,157
営業費用	63,654	33,439	97,094	739	97,833
営業利益	1,841	288	2,130	(806)	1,323

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	68,202	42,856	111,058	—	111,058
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	101	—	101	(101)	—
計	68,303	42,856	111,160	(101)	111,058
営業費用	65,175	42,490	107,666	907	108,574
営業利益	3,127	366	3,493	(1,009)	2,484

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

2. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。